



概要

このマニュアルでは、高可用性（HA）環境やディザスタリカバリ（DR）環境に Cisco Security Management Suite（Security Manager）をインストールする方法について説明します。Security Manager HA/DR ソリューションは、Veritas Storage Foundation and High Availability Solutions に基づいています。このマニュアルで説明する Security Manager HA/DR ソリューションは次のアプリケーションをサポートしています。

- Security Manager 4.27

HA ソリューションは、ローカル冗長性（HA）と地理的冗長性（DR）の両方の構成をサポートします。



-
- (注) Cisco Prime Security Manager（PRSM）アプリケーションの相互起動は、HA および DR 構成の両方でサポートされます。ただし、シングルサインオン（SSO）機能を使った Security Manager から PRSM へのシームレスな直接アクセスは、HA モードでのみサポートされます。
-



-
- (注) バージョン 4.21 以降、Cisco Security Manager では、すべてのアグリゲーションサービスルータ、統合サービスルータ、埋め込み型サービスルータ、および次のデバイスを含む Cisco IOS ソフトウェアで動作するすべてのデバイスについて、バグ修正または拡張機能のサポートを含むサポート全体が終了します。

- Cisco Catalyst 6500 および 7600 シリーズファイアウォールサービスモジュール（EOL8184）
 - Cisco Catalyst 6500 シリーズ Intrusion Detection System サービスモジュール 2（EOL8843）
 - Cisco Intrusion Prevention System : IPS 4200、4300、および 4500 シリーズ センサー（EOL9916）
 - Cisco SR 500 シリーズ Secure Router（EOL7687、EOL7657）
 - PIX ファイアウォール（EOL）
-

この章は、次のセクションで構成されています。

- [ローカル冗長性 \(HA\) プロセスの概要 \(2 ページ\)](#)
- [地理的冗長性 \(DR\) プロセスの概要 \(4 ページ\)](#)
- [Veritas 製品 \(6 ページ\)](#)

ローカル冗長性 (HA) プロセスの概要

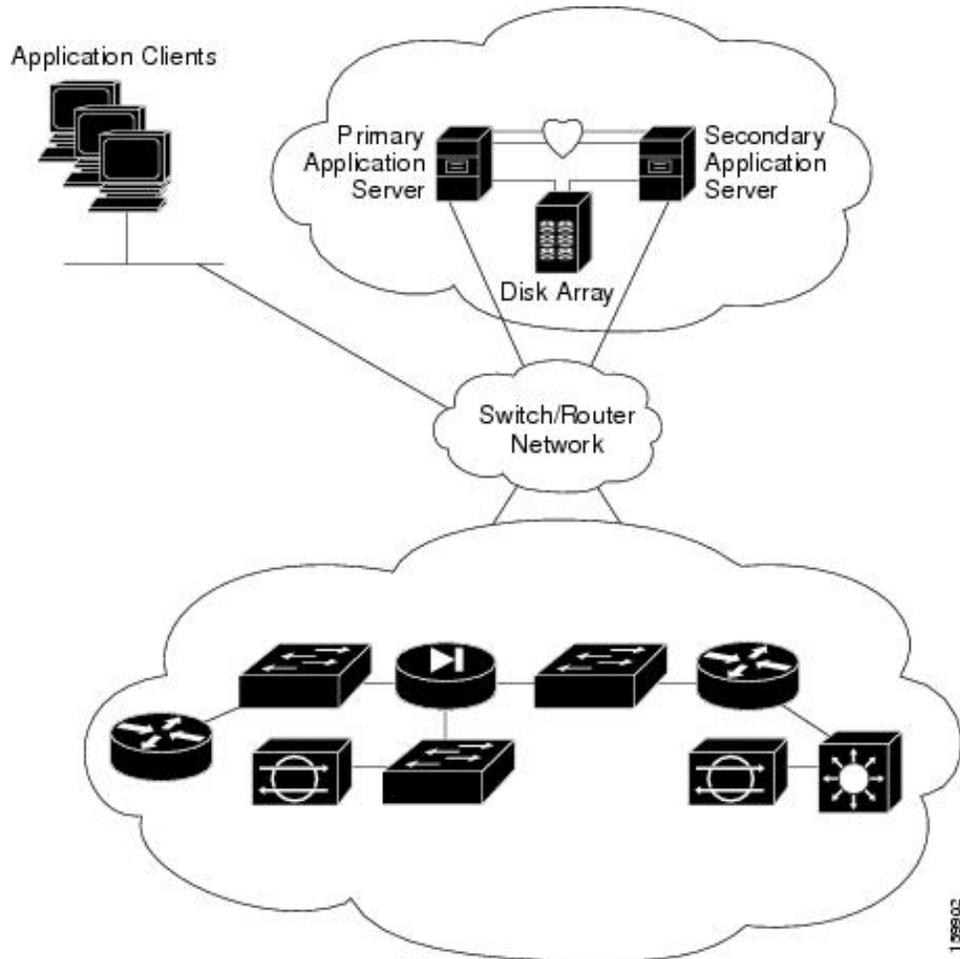
ローカル冗長性の構成は、ソフトウェアまたはハードウェア障害の際にも、スイッチドネットワークおよびルーテッドネットワークで IP アドレスや DNS エントリを再設定する必要がない、自動フェールオーバー ソリューションを提供します。

[図](#)に、ローカル冗長性 HA の構成を示します。



(注) [図](#)のサーバーには、ミラーリングされた内蔵ブートディスクが含まれることがあります。同じメーカー、モデル、およびストレージ容量にすることを推奨します。HA サーバとの通信にはフォールトトレラントなスイッチド/ルーテッドネットワークを推奨します。

図 1: ローカル冗長性 HA の構成



1-9999-02

ローカル冗長性 (HA) の設定手順

次の表に、Cisco Security Manager のローカルな冗長性を持つインストールを設定するために必要な手順を示します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	物理接続を確立します。	イーサネット接続の確立
ステップ 2	Microsoft Windows サーバとすべての必要なドライバをインストールします。	Microsoft Windows Server のインストール
ステップ 3	ストレージ接続を確立します。	外部ストレージへのサーバの接続

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	Veritas 製品およびコンポーネントをインストールして設定します。	Veritas 製品のインストール
ステップ 5	ブートディスクをミラーリングします。	ブートディスクのミラーリング（任意）
ステップ 6	共有アレイに必要なボリュームをセットアップします。	Veritas Volume Manager の設定タスク
ステップ 7	プライマリサーバの共有ボリューム上に Cisco Security Manager をインストールします。	Security Manager のインストール
ステップ 8	セカンダリサーバのスペア（ダミー）ボリューム上に Cisco Security Manager をインストールします。	Security Manager のインストール
ステップ 9	セカンダリサーバに対する権限を更新します。	作業ボリュームに対する権限の更新
ステップ 10	クラスタを作成し、設定します。	Veritas Cluster Server タスク

地理的冗長性（DR）プロセスの概要

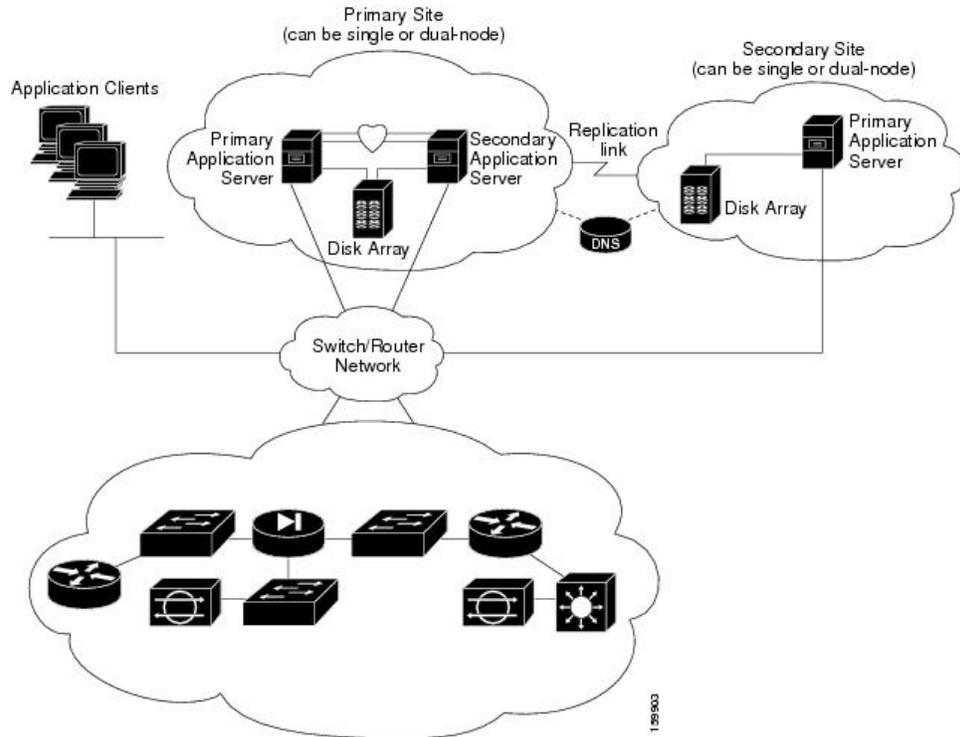
地理的冗長性の構成では、2つのサイト間でアプリケーションデータを複製することにより、ディザスタリカバリを提供します。サイト間のフェールオーバーを手動で開始するか、自動的に実行できます。

に、地理的冗長性（DR）の構成を示します。



(注) のサーバーには、ミラーリングされた内蔵ブートディスクが含まれることがあります。同じメーカー、モデル、およびストレージ容量にすることを推奨します。サーバとの通信にはフォールトトレラントなスイッチド/ルーターネットワークを推奨します。

図 2: 地理的冗長性 (DR) の構成



地理的冗長性 (DR) の設定手順

次の表に、Cisco Security Manager の地理的な冗長性を持つインストールを設定するために必要な手順を示します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	物理接続を確立します。	イーサネット接続の確立
ステップ 2	Microsoft Windows サーバとすべての必要なドライバをインストールします。	Microsoft Windows Server のインストール
ステップ 3	ストレージ接続を確立します。	外部ストレージへのサーバの接続
ステップ 4	Veritas 製品およびコンポーネントをインストールして設定します。	Veritas 製品のインストール
ステップ 5	ブートディスクをミラーリングします。	ブートディスクのミラーリング (任意)
ステップ 6	共有アレイに必要なボリュームをセットアップします。	Veritas Volume Manager の設定タスク

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 7	プライマリサーバの共有ボリューム上に Cisco Security Manager をインストールします。	Security Manager のインストール
ステップ 8	セカンダリサーバのスペア（ダミー）ボリューム上に Cisco Security Manager をインストールします。	Security Manager のインストール
ステップ 9	複製を設定します。	Veritas Volume Replicator タスク
ステップ 10	セカンダリサーバに対する権限を更新します。	作業ボリュームに対する権限の更新
ステップ 11	クラスタを作成し、設定します。	Veritas Cluster Server タスク

Veritas 製品

このマニュアルで説明されている Security Manager HA/DR ソリューションは、Veritas 製品に基づいています。ここでは、各 Veritas アプリケーションの概要を示します。

- Veritas Storage Foundation for Windows (VSW)

VSW は、Windows 企業コンピューティング環境で、ボリューム管理テクノロジー、迅速なリカバリ、およびフォールトトレラント機能を提供します。VSW は VCS および VVR の基盤を提供します。

- Veritas Cluster Server (VCS)

VCS は、アプリケーションのダウンタイムを減らすためのクラスタリングソリューションです。VCS の Global Cluster Option (GCO) は、(DR 構成などで使用される) 複数のクラスタの管理をサポートします。

- Veritas Volume Replicator (VVR)

VVR は、IP ネットワークを介して継続的にデータを複製することにより、リモートリカバリサイトで重要なアプリケーションを迅速に、高い信頼性でリカバリできます。

- Veritas Enterprise Administrator (VEA GUI) コンソール

VEA GUI コンソールウィンドウは、システムのすべてのストレージオブジェクトを表示および処理するためのグラフィカルな方法を提供します。

- Cluster Manager (Java コンソール)

Cluster Manager (Java コンソール) は、クラスタのすべての管理機能を提供します。クラスタと、サービスグループ、システム、リソース、リソースタイプなどの VCS オブジェクトをモニタするには、Java コンソールのさまざまなビューを使用します。

- Cluster Monitor

Cluster Monitor は、実際のクラスタまたはシミュレートされたクラスタに関する一般情報を表示します。Cluster Monitor を使用して、クラスタへのログインやクラスタからのログオフ、さまざまな VCS オブジェクトのサマリー情報の表示、表示のカスタマイズ、VCS シミュレータの使用、および Cluster Manager の終了を行います。

- Cluster Explorer

Cluster Explorer はクラスタ管理のメインウィンドウです。このウィンドウから、VCS オブジェクトのステータスを表示したり、さまざまな操作を実行したりできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。